

出題分析		
試験時間 100 分	配点 200 点*	大問数 3 題
分量 (昨年比較) [減少 同程度 増加]		難易度変化 (昨年比較) [易化 同程度 難化]
<p>【概評】</p> <p>同志社大学の英語の大問構成にはここ数年大きな変化は見られない。Ⅰ・Ⅱは長文読解で英文の分量はどちらも 3~4 ページ程度、設問としては、空所補充、同義選択、内容一致等があり、下線部和訳がⅠ・Ⅱどちらかにある。大問Ⅲは会話文で、空所補充と 1~2 行程度の和文英訳が定番である。大問Ⅰで 200 語程度増えたが、大問Ⅱで 170 語近く減少し、全体としては語数に大きな変化はない。英文自体および設問の難度は標準的であるが、英文のボリュームからすると、精度だけでなく相当のスピードが要求される。</p>		

※グローバル・コミュニケーション学部英語コース (英語重視型) は配点を 250 点満点に換算する。

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
Ⅰ	長文読解 「光害がもたらすさまざまな影響」 ○ 語数：1154 語 (昨年) 962 語	世界で広がり続ける光害が動物や人間にもたらすさまざまな悪影響と、その対策について述べた文章。語句整序Dは、二重下線部が直後の文とほぼ同じ内容になっている。「当てはまらないもの」を選ぶEの問題は、選択肢1「夜空を目的とした観光に対する補助を削減する」が、破線部 reduce light pollution と反対の方向性になるので、正解。	標準
Ⅱ	長文読解 「人間がエラ呼吸でないのはなぜ？」 ○ 語数：746 語 (昨年) 912 語	動物の呼吸方法が魚類のエラ呼吸から陸生動物の肺呼吸へと推移した過程を述べた文章。内容把握のC(イ)の the sea-to-land transition は、続く段落で魚類の生息地が海から陸へと変化したことを指している。語句整序Dでは、 recipe が比喩表現だと掴みたい。 different than ~ は、 different from ~ と同じ意味。内容一致のFは解きやすい。	標準
Ⅲ	会話文 「旅行の準備」 ○ 語数：526 語 (昨年) 548 語	週末の旅行に持っていく荷物の準備について立場の違う姉妹の会話。Aの空所補充は総じて取り組みやすい。(f)に入る選択肢5は「もうその手は食わない」ということ。 fall for ~ 「~にひっかかる」。Bの和文英訳の「計画してきたこと」とは、結局「計画」そのものだから、 our plans で十分。「~にぴったり」は perfect for ~ がしっくりくる。	やや易

設問構成 (設問数・形式・内容)												
大問 番号	設問数	選択式						記述式				
		空所 補充	同義 選択	内容 把握	語句 整序	内容 一致	その他	和訳	英訳	自由 英作	内容 (理由) 説明	その他
I	7	3	8	3	1	3/8	1	1				
II	6	3	7	3	1	3/8	1					
III	2	8							1			

※「選択式」および「記述式」の欄の数値は、各設問内の小問数を表す。ただし、内容一致については、正答数/選択肢数を表している。

合格のための学習法

同志社大学の入試で合格点をとるには、英文読解力を鍛えることが最も重要である。そのためには1学期のうちに、暗記ではなく理解を重視した、英文を読み書きするための文法を身につけるべきである。同時に辞書を引きながら時間をかけて過去問を中心とする英文を讀んでいこう。スピードを気にせずじっくり読みすすめよう。速く読もうとすると、いつまでも読めるようにはならないからね。英語の勉強時間の大半を英文読解にかける気持ちでがんばろう。そして短文中心の英作文問題集にも取り組むんだ。また市販の単語帳を使って毎日少しずつ単語・熟語を覚えていこう。これらを1年間継続できれば、合格は君のものだ。